

北薩感染症情報

2019年第33週(8月12日~8月18日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中

○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0		2	-	-	↓	-	-	-	→	-	
小児科定点	RS	-	-	-		1	1	0.25	→	-	6	1	0.33	↓	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-		1	1	0.25	→	-	6	-	-	↓	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-		2	5	1.25	↗	-	4	8	2.67	↗	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-		7	11	2.75	↗	-	1	6	2.00	↗	-
	水痘	2.0	1.0	1.0		4	-	-	↓	-	-	1	0.33	↗	-
	手足口病	5.0	2.0	-		8	4	1.00	↓	-	6	-	-	↓	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-		7	3	0.75	↓	-	5	2	0.67	↓	-
	突発性発疹	-	-	-		3	-	-	↓	-	3	-	-	↓	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-		4	2	0.50	↓	-	3	-	-	↓	-
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0		-	1	0.25	↗	-	1	1	0.33	→	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-		-	-	-	→	-	/	/	/	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-		3	3	3.00	→	-	/	/	/	/	
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	1	1.00	↗	-
	クラミジア肺炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
インフルエンザ 入院報告	-	-	-		-	-	-	/	-	/	/	/	/		
報告数合計		-	-	-		42	31	/	↓	/	35	20	/	↓	

<注意報・警報>
 ・川薩保健所管内 伝染性紅斑が終息基準(1.00)以下の「0.75」となりました。
 水痘も終息基準(1.00)以下の「0」となりました。
 ・出水保健所管内 伝染性紅斑が終息基準(1.00)以下の「0.75」となりました。

<全数報告>
 ・川薩保健所管内 無し
 ・出水保健所管内 腸管出血性大腸菌(保菌者1人)

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>
 ・川薩保健所管内 なし
 ・出水保健所管内 なし

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.33	-
小児科定点	RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	0.33	0.25
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	0.75	0.75	1.00	0.75	1.25	0.75	0.50	0.50	0.33	0.25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	1.75	2.00	1.50	0.75	0.50	0.75	0.75	1.75	0.67	1.25
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	2.75	1.50	3.00	0.75	0.50	1.75	1.25	2.75	2.33	2.75
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.50	-	1.00	-	0.50	0.25	0.25	0.75	1.33	-
	手足口病	5.00/2.00	-	20.00	10.50	3.00	3.00	2.00	1.75	1.75	4.50	2.67	1.00
	伝染性紅斑	2.00/1.00	-	-	1.50	1.00	1.50	1.50	1.00	1.00	1.00	2.33	0.75
	突発性発疹	-	-	1.25	0.75	1.00	0.75	0.75	0.75	1.00	1.25	1.00	-
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	-	-	0.25	-	0.75	0.75	0.75	1.25	1.33	0.50
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.25
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	6.00	6.00	9.00	4.00	4.00	4.00	1.00	5.00	3.00	3.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	-	-	-	-	-	0.20	-	-	-	-
小児科定点	RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.67	2.00	0.33
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.00	0.67	0.33	0.33	-	0.67	1.67	-	2.00	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	1.33	1.33	1.00	1.33	1.00	0.67	1.67	0.67	1.33	2.67
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	6.00	3.00	1.00	2.00	2.00	1.33	1.00	0.67	0.33	2.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.67	0.67	0.33	-	1.33	-	0.33	-	-	0.33
	手足口病	5.00/2.00	-	9.33	9.33	3.33	5.33	2.33	1.33	1.33	2.33	2.00	-
	伝染性紅斑	2.00/1.00	-	1.33	5.00	3.33	1.67	3.33	1.67	1.00	2.00	1.67	0.67
	突発性発疹	-	-	-	-	0.33	0.33	1.00	1.00	0.33	-	1.00	-
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	2.00	1.67	0.33	1.33	0.67	1.00	0.67	0.33	1.00	-
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	0.33	0.33
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	3.00	1.00	1.00	-	-	2.00	-	1.00
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	-

(注意報・警報)

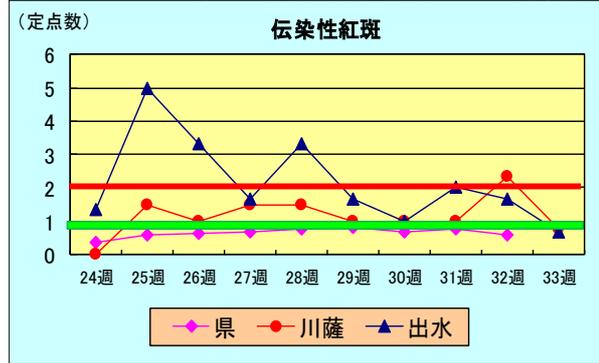
○伝染性紅斑について

【警報開始基準値 2.0, 警報終息基準値 1.0】

第33週の伝染性紅斑の発生状況は、川薩保健所管内からは、3名(定点あたり報告数0.75)の報告があり、終息基準値 1.0以下となったため、警報を解除します。

出水保健所管内からは、2名(定点あたり報告数0.67)の報告があり、終息基準値1.0以下となったため、警報を解除します。

(第33週は川薩・出水のみ掲載)



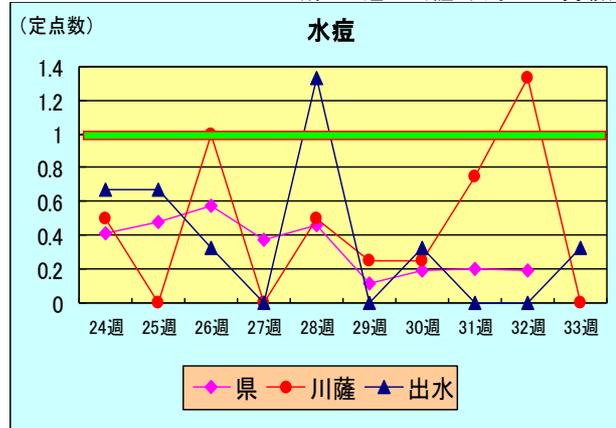
○水痘について

【警報開始基準値 2.0, 警報終息基準値 1.0, 注意報1.0】

第32週で定点あたり1.33と注意報基準値(1.00)を超えましたが、第33週の水痘の発生状況は、川薩保健所管内から0名(定点あたり報告数 0.00)の報告があり、注意報基準値 1.00を下回りました。

出水保健所管内からの報告は1名(定点あたり報告数 0.33)の報告がありました。

(第33週は川薩・出水のみ掲載)



注目の感染症

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

今回の感染症は先週第31週でご紹介した「ダニ媒介感染症」の一種である「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」についてお知らせしたいと思います。

SFTSは、2011年に中国の研究者らによって発表された「ブニヤウイルス科フレボウイルス属」に分類される新しいウイルスによる「ダニ媒介性感染症」である。

2013年1月に国内で海外渡航歴のない方がSFTSに罹患していたことが初めて報告され、それ以降他にもSFTS患者が確認されるようになった。

SFTSウイルス(SFTSV)に感染すると6日～2週間の潜伏期を経て、発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)が多くの症例で認められ、その他頭痛、筋肉痛、意識障害や失語などの神経症状、リンパ節腫脹、皮下出血や下血などの出血症状などを起こす。検査所見上は白血球減少、血小板減少、AST・ALT・LDHの血清逸脱酵素の上昇が多くの症例で認められ、血清フェリチンの上昇や骨髄での血球貪食像も認められることがある。

致死率は6.3～30%と報告されている。感染経路はマダニ(フタトゲチマダニなど)を介したものが中心だが、血液等の患者体液との接触により人から人への感染も報告されている。治療は対症的な方法しかなく、有効な薬剤やワクチンはない。



フタトゲチマダニ *Haemaphysalis longicornis*

○ 厚生労働省SFTSアドレス

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html

「ダニ」にご注意ください

山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、登山など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介感染症、日本紅斑熱、つつか虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント！

- 肌の露出を少なくする
⇒ 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等
- 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する
⇒ シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中
- 足を完全に覆う靴を履く
⇒ サンドル等は避ける
- 明るい色の服を着る（マダニを自視で確認しやすくするため）
 - ※ 上着や作業着は原色の中に持ち込まないようにしましょう
 - ※ 野外活動後に入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう

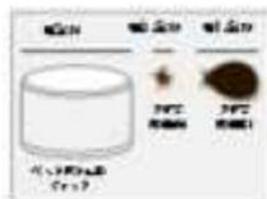


ダニに咬まれたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】

① 野外活動の日付け、② 場所、③ 発症前の行動



ダニ媒介感染症（厚生労働省）

るは他のダニ媒介感染症の予防として、虫除け剤・防虫ネットなどを使用してください。





今年も あなたの血を狙って 奴らがやってくる!

～ダニ・蚊の襲来に備えよ～

草むらに入る時は注意しよう!

肌の露出を減らそう!

虫よけ剤を使おう!

ペットの虫よけも万全に!

蚊やダニは病気を持っているものもあり、咬まれないことが大切です。

【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(HTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅熱病・ツツガ虫病・ライム病 など
 【蚊が媒介する感染症】日本脳炎・デング熱・チクングニヤ熱・ジカウイルス感染症 など

蚊・ダニに咬まれないポイント

蚊・ダニ共通対策

- 肌の露出を少なくする
 - 長袖・長ズボンを着用する
 - 足を完全に履き靴を履く(サンダルなど履き外す)
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

ダニ対策

- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
 - シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- ※野外活動後は入室し、ダニに咬まれているか確認しましょう。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、顔の裏などに注意しましょう。



蚊媒介感染症
厚生労働省



ダニ媒介感染症
厚生労働省



※各都道府県の保健所や保健センターなどで、詳しくはお問い合わせください。